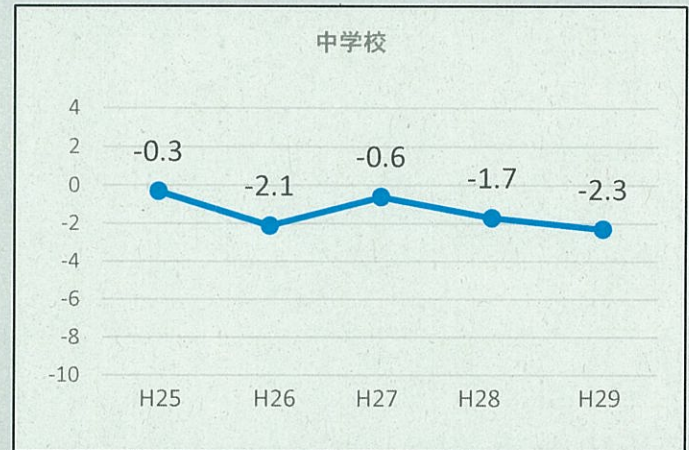
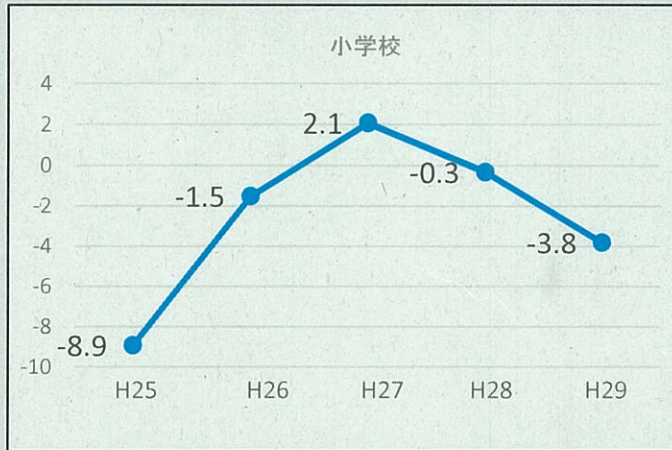


平成29年度 全国学力・学習状況調査の概要

各教科の合計点が、全国平均と比較とどれくらい差があるのか経年変化にまと目しました。また、平成29年度の中学校3年生の全国平均との差を、小学校6年生の時の全国平均との差を比較しました。さらに、無回答率について、全国平均と比較しました。

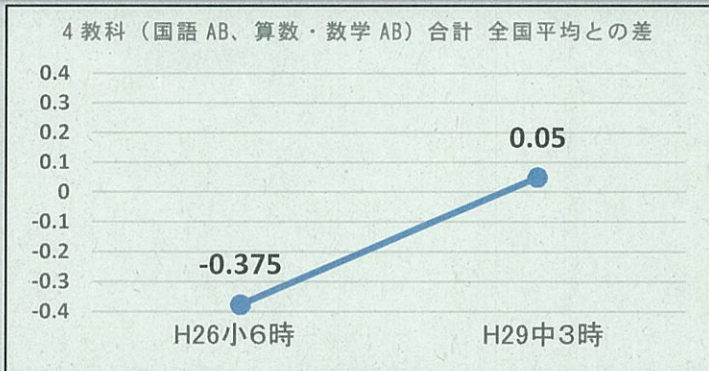
各教科合計点の全国平均との差の推移



小学校では平成25年度と比較すると、全国平均との差は縮まりつつありますが、平成27年度から比べると差が広がりがつつあります。

中学校では、全国平均との差はあまり大きくありませんが、全国平均を下回る傾向にあります。

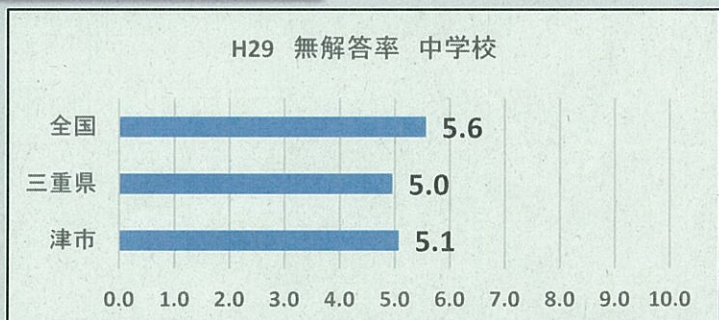
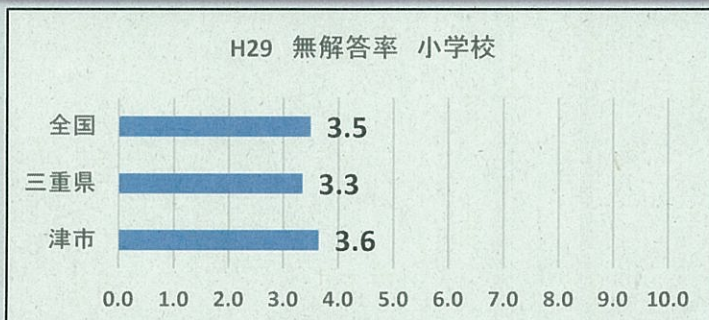
平成29年度の中学校3年生の全国平均との差



平成29年度は、全8教科（小中学校国語 AB、算数・数学 AB）中、中学校の数学 A のみで全国平均を上回るにとどまりました。

しかしながら、小中一貫教育が始まった平成26年度に小学校6年生であった中学校3年生の平均正答率は、全国平均をわずかながら上回っています。

全国学力・学習状況調査 無回答率の全国平均との差



平成29年度は、小学校の無回答率は全国平均と同等でしたが、中学校の無回答率は全国平均を下回ることができ、最後まであきらめず、積極的に課題に取り組む力が身についてきています。